

様式A

令和4年度 幼稚園 ゆめプラン評価公表シート

和歌山市立西脇幼稚園

教育目標 心身ともに健康で、楽しく遊ぶ子どもを育てる

評価：A良好、B概ね良好、C要改善

ゆめ	重点目標	具体的取組	取組の状況	評価
生き生きと主体的に遊ぶ子どもを育てる	豊かな感性を育むための魅力ある環境構成とは	教師は、子ども達の思いに寄り添い、一人一人を大切にしようとしている。	全職員で子供たちを見守っていくように心がけ、気づいたことはすぐに担任に伝えたり、降園後に話し合ったりしながら子供について共通理解をしていった。	A
		子供一人一人が興味関心をもち、主体的に遊びを楽しめるような園内環境の工夫をする。	子供たちが「今日これしたい！やってみよう！」という思いが実現できるよう、日々環境を見直し、話し合いながら取り組んでいった。	A
		子供の生活に変化やうるおいを与え、豊かな感性を育めるようにする。	子供たちが心動かせるような経験をしその思いを自由に楽しく表現していけるような環境を考えていった。	A
		十分に遊び込める場や時間・物に配慮し、自発的に遊べるような環境の工夫をする。	午前中の約2時間を、子供が十分に遊びこめる時間として確保している。子供が自分の好きな遊びを選び活動できるような環境の工夫を行った。	A
		四季の変化や自然の美しさ、不思議さを感じられるような体験活動ができるようにする。	四季の草花を植えたり、実のなる木を育てたりした。また、ビオトープの整備をした。四季のうつかりを教師と一緒に気づいたり感じたりできるようにした。	A
		身近な動植物との触れ合いの中で豊かな体験活動ができるようにする。	玄関前には、子供たちが捕まえた虫をいれ見ることができるよう虫ハウスを置いている。親子で眺めから登園してくる子供もいる。園庭に虫が来るように花を植えて草むらを作り、生育に興味をもてるようにもしている。	A
		四季折々の栽培物に親しみ、食べ物への興味関心につなげる。	子供たちが、畑に種をまき成長を楽しみにしながら草とりや虫探しをした。大根は親子で収穫し家庭に持ち帰ってもらった。家庭と園が共有でき家庭での様子を知ることができた。	A
		小学校との交流を深め、小学校への期待をもったり、異年齢の友達と関わったりする楽しさを味わえるようにする。	今年度もコロナ禍の影響で小学校との交流はほとんどできなかった。園内での異年齢とのかわり朝の好きな遊びをする時間に楽しさを味わえるようにした。	A
		地域の祭りや散歩などを通して地域の方との触れ合いを大切にしていく。	事前に職員で地域を回り、散歩できそうな場所を探した。毎年出かけている河西公園に加え、近くのシラス屋さんに見学もさせていただいた。	B
子供の育ちを共有し、園便り、クラス便り、写真等を通して、子供の様子を伝え、保護者との連携を図る。	園だより・クラスだより・写真等で子供たちの様子を知らせたり、保護者に直接伝えたりして信頼関係を築き連携をとっていった。	A		

保護者アンケート集計結果の比較から見えてきた成果や課題

保護者アンケートの結果から、全体的に肯定的な評価をいただいた。この結果からも園の目標と取組を保護者に理解していただいていることがうかがえる。しかし、いくつかの項目の中には、「あまりそう思わない」や「無回答」などが数パーセントあるので、今後も引き続き保護者に園の取組や考えを丁寧に伝えていく必要がある。保護者として信頼関係を築き、園と家庭が同じ方向に向かって子供を育てていけるようにしていきたい。

今年度の取組の成果と課題・今後の改善方策

今年度は、「美術教育・造形表現の全国大会和歌山大会」において公開保育をさせていただくことになり、環境図と子どもの様子をまとめて環境について話し合っていた。その中で、特に子供の豊かな感性に目を向けて、子供たちが何に魅力を感じて心を動かしているのかをしっかりと捉えていくように研究してきたことで、よりよい環境作りを職員全体で考え、変化をさせていくことができた。また、今年度は地域の方にご協力いただき、浜遊びシラス見学をさせていただいた。来年も地域のよさを、職員自身もしっかり感じるとともに、子供たちと一緒に楽しんでいきたい。

学校(幼稚園)関係者評価委員による自己評価の検証

アンケート結果を見て保護者は評価は、非常に高いのに、園児数が減っている。時間や夏休み期間の検討する必要があるかもしれない。
 ・園児たちを大切に思い、多くの行事を通して豊かな心を育てる教育に感服しています。
 ・地域の触れ合い等がコロナ禍の中でも増えていけばと感じました。
 ・学年や担任など関係なく、子供たち一人一人のことを把握してくれているように感じ、先生方が全員でしっかり見守っていただけていると安心感がありました。畑では、種まきから収穫までの課程を経験でき、食べ物食べ物への関心が出てきたように思います。また、園では体を使ったり、頭を使ったり楽しく遊びながら学べる工夫がされていました。